

## 大きく変わる学校

### グローバルコース新設

## 佼成学園中学校



佼成学園中学校は 1956 年、立正佼成会が社会貢献として高校とともに開校した学校です。甲子園にも出場したことがあります。最近ではアメリカンフットボールの活躍が目立ちます。「行学二道」（体験と学問の両立に励む）を校訓として、体験だけでも知識だけでもなく、その双方を身に付ける教育を実践していて、2021 年度からはグローバルコースを新設、グローバルリーダーの育成に取り組みます。

### 1. グローバルコースとは

グローバルコースは中学・高校同時にスタートします。世界基準でものごとをとらえ、世界平和実現のために貢献できる真のグローバルリーダーに成長することを目的としたコースです。実践的な英語力を育成するだけではなく、様々な場所で現地の人々と交流し、日本とは異なる文化に触れる場を提供するなど、国際社会で活躍するリーダーに必要な「グローバル・コンピテンシー」を育成するための様々な体験や機会を創出しています。高校卒業までに英検 1 級取得を目標とし、卒業後の進路は海外の大学や国内のスーパーグローバル大学（東大・東工大・早慶などのほか、国際教養大や立命館アジア太平洋大など、グローバル企業からの注目度が高い大学が指定されている）への現役進学をめざします。

### 2. 「使える」英語力の育成

もともと、「使える英語力」の育成には力を入れていて、中学段階ではネイティブ教員が担当する授業「Practical English」を週 3 回行っていますが、グローバルコースではこれを週 4～5 回に増やすとともに、日常的なグローバルコミュニケーション講座やオンライン英会話、グローバルコースに特化した多様な文化に触れる機会として、青梅国際交流キャンプ参加や大使館訪問を行ないます。中学生のうちに大事なことは英語を楽しみ、慣れ親しむことです。「聞く」「話す」「読む」「書く」という 4 技能を駆使した授業を通して、楽しみながら英語学習に取り組むことができ、英語を「好き」になってもらいます。

高校ではネイティブ教師によるオールイングリッシュの授業を基本に、英語 4 技能と英語で論理的思考が可能となる 21 世紀型英語スキルの習得をめざします。知識や技能の習得にはオンライン教材を活用。英語でのプレゼンテーションやディスカッション、ディベート、模擬国連などのリサーチ、生徒同士の協働を通じて、論理的思考を養います。また、大学進学時に必要となる TOEFL、IELTS、実用英語技能検定 1 級取得対策にも力を入れます。

### 3. 課題解決能力の育成

高い英語力とともに、それを生かす課題解決能力の育成にも力を入れます。中学では自身の課題意識から卒業論文を作成、高校ではアントレプレナーシップ（起業家精神）の基礎を学び、学期ごとに全教科で共通する社会課題を取り上げ、それぞれの教科の視点から考え、解決に導きます。これ以外にも Research Based Learning を授業の中で展開していきます。特に高 2 では自分の興味や強みと社会課題とを結びつけ、課題解決のためのプロトタイプを作成します。

### 4. 徹底した海外体験の積み上げ

中 1 ではモンゴル異文化体験プログラム、中 2 ではマニラ平和学習プログラム、中 3 ではタイ・フィールド実践プログラムを実施、高 1 ではベトナムを自分の目で見て、現地の人と交流しながら社会課題解決方法を提案、高 2 では上記のプロトタイプをアメリカに持ち込み、現地の投資家にプレゼンテーションを行います。（※今後の状況で別のプログラムに変更する場合があります）